

令和 6 年度

岐阜県
野生いのししASF
防疫実地演習

岐阜県農政部家畜防疫対策課
野生いのしし対策室
三輪 能也



昨年度の野生いのししASF防疫演習

日時：令和5年11月1日（水）13:00～

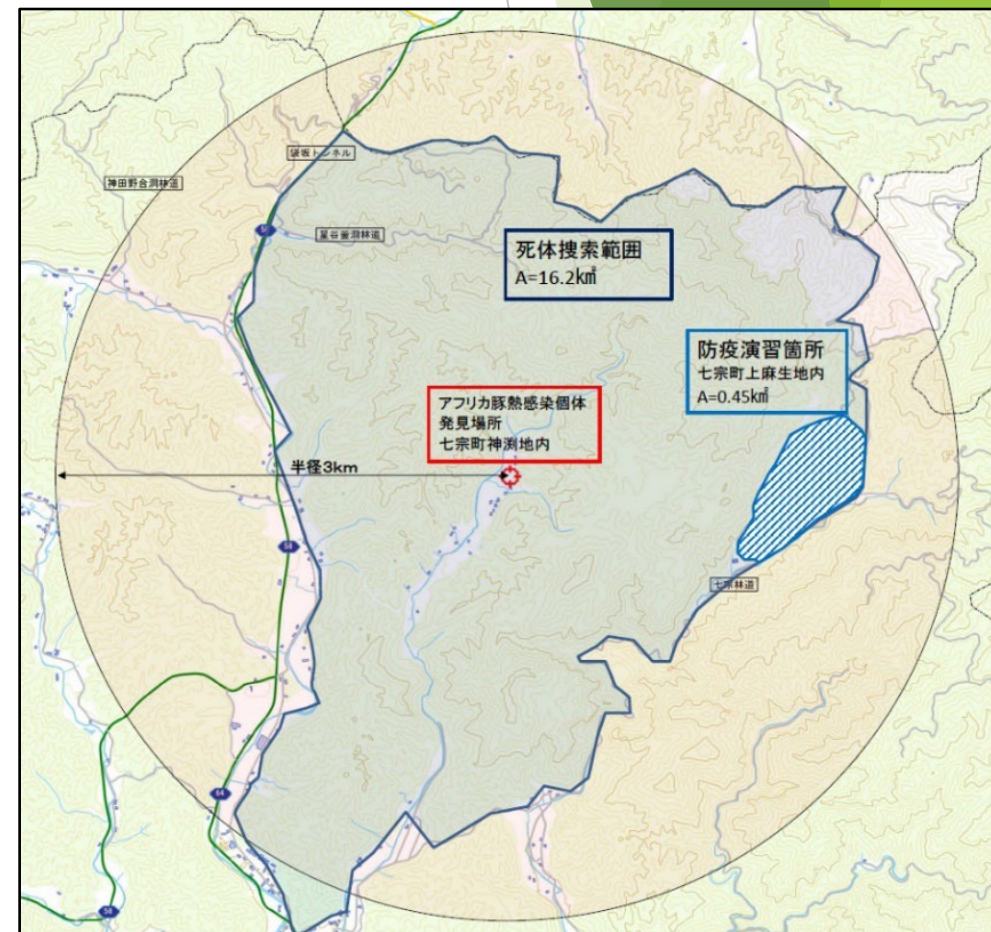
場所：七宗国有林（加茂郡七宗町上麻生地内）

参集範囲：農林水産省消費・安全局動物衛生課、農研機構、七宗森林事務所、東海農政局、加茂郡猟友会、七宗町、愛知県、岐阜県（計31人）



（昨年度の演習で得た主な知見）

- ・ 本条件下での1時間あたり1班の搜索面積は 0.13km^2 程度。
- ・ 搜索班は3人、処理班は4人程度で構成が妥当。各班員の役割を明確とする。
- ・ 防護服を着用し山中の移動・作業を行ったが、熱中症、疲労・機動性低下リスクがあり、暑い時期は死体周辺での作業時のみの着用とし、現場での消毒の徹底等、衛生管理を入念に行う方が妥当。



令和6年度演習の目標

- ▶ 野生いのししASF防疫措置の具体的作業概要を、県内の各家畜伝染病対策支部及び林業団体、猟友会を含む関係団体へ周知



- ・ 各農林事務所（各対策支部の中心所属）及び関係団体へ対面説明
- ・ 農林事務所及び関係団体の演習参加
- ・ 参加者80名規模に対応した実地演習

令和6年度演習の構成

机上演習

- 1 目的 いのししASF発生時の初動確認
- 2 時期 9月2日（月）
- 3 参加者 野生いのしし対策室職員・本部関係職員
- 4 演習内容
 - ・時間管理のもと防疫措置開始までの流れを確認
 - ・支部への要員派遣、現場での実行計画作成支援、現場チーム編成支援
 - ・消毒ポイント設定、防疫拠点設定等

リスクコミュニケーション 演習

目的 農林事務所、関係団体等にいのししASF防疫措置について説明

○県・市町村関係

森林文化アカデミー、美濃市6/10
岐阜農林事務所 8/9
下呂農林事務所 8/19
飛騨農林事務所 8/19
中濃農林事務所 8/20
揖斐農林事務所 8/20
西濃農林事務所 8/21
家保所長会議 8/22
東濃農林事務所 8/26
恵那農林事務所 8/26
郡上農林事務所 8/28
可茂農林事務所 8/28
県CSF有識者会議 9/3
下呂・飛騨支部連絡員会議 10/15

○団体その他

近隣県との情報交換 4/25
県森連、県森林施業協会 7/25
県設計測量協会 7/25
県建設業協会 7/29
県猟友会 8/1
県ペストコントロール協会 8/7
県建設業協会緊急防災隊 8/9
東海四県農政局意見交換 8/23
岐阜大学野生動物管理研究センター 9/12

実地演習

- 1 目的 県内対策支部担当者及び協力団体担当者が野生いのししASF防疫措置の全体像と具体的作業イメージを共有する
- 2 開催日 令和6年11月12日（火）
- 3 場所 岐阜県立森林文化アカデミー
- 4 参集 農林水産省、農研機構、岐阜県、近隣県、関係市、関係団体等 約80名

実地演習

- 1 目 的 アフリカ豚熱（ASF）は、国内では未発生であるものの、他国において野生いのししを介して被害が拡大する事例が多い。そこで、野生いのししの感染確認箇所周辺において迅速に初動対応を行なえるよう、県内各家畜伝染病対策支部担当者及び協力団体担当者が防疫措置の全体像と具体的作業イメージを共有することを目的とする実地演習を行う。
- 2 開催日 令和6年11月12日（火） 10：00～15：30
- 3 場 所 岐阜県立森林文化アカデミー テクニカルセンター・演習林内
（岐阜県美濃市曾代88番地）
- 4 参 集 農林水産省、農研機構、岐阜県、近隣県、関係市、関係団体等 約80名
- 5 内 容 講演1「アフリカ豚熱の現状と対策」農林水産省動物衛生課 永田課長補佐
講演2「イノシシとアフリカ豚熱関係の研究情報」農研機構畜産研究部門 平田先生
屋外実働演習
「野生いのしし群でアフリカ豚熱が発生した場合の防疫措置」
 - 1 いのしし死体搜索、2 死体処理（その場消毒処理、搬出の2パターン）、
 - 3 死体運搬、4 現地支援・柵設置

講評

岐阜県立 森林文化アカデミー アクセスMAP

令和6年度 野生いのししASF防疫
実地演習 配置図

